

テーマ

通行人を数える

研究 名称

レーザー距離センサを用いた歩行者カウンタ

適用 分野

方向別に通行人の数を詳細に
カウント、交通調査、レー
ザー距離センサ

氏名 所属

田中雅博 教授
知能情報学部 知能情報学科



内容

●特徴

赤外線レーザー距離センサを2つ並べたセンサユニットを2 m 30 cm 以上の高さに設置することにより、左右2方向の人の通行量を自動的にカウントするシステムです。個別のデータは秒単位で身長と通行した位置もログが取れます。

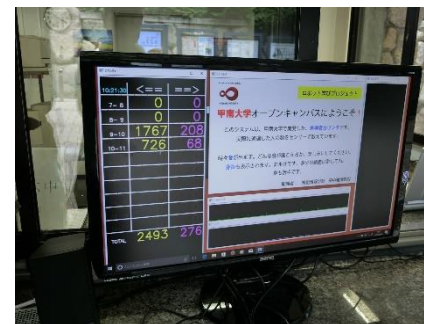
●運用実績

- ◇ 甲南大学オープンキャンパスで、数年間正門における入退場者数を30分ごとに集計（写真上、下左）。これくらいの通行密度でも実行可能。
毎年4回
- ◇ グランフロント大阪ナレッジキャピタルで、甲南大学展示の際に、ブースへの入場者数の記録を取得（写真下右）。長期間（1か月、2か月）
連続稼働実績を7～8回
- ◇ それ以外にも数件

本システムは、人の動きをベースにしています。
センサの前に2秒以上止まっている人は数えません。

●社会への提供

貸出による利用も可能（ご相談ください）
セキュリティ用に応用可能（自動撮影など）



<http://carnation.is.konan-u.ac.jp>

キーワード

レーザー距離センサ、歩行者カウンタ、通行人数

連携方法

■ 講演 □ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 □ コメント ■ 共同研究